台大日本語文研究第 34 期
2017 年 12 月，頁 101-127
2017-09-30 收稿，2017-10-26 通過刊登
DOI: 10.6183/NTUJP.2017.34.101

從出場人物探索日本昔話詞彙特徵
—以《赤鳥》雜誌童話為討論材料—

林立萍*

摘要

本報告試透過日本著名兒童文學家所創作的《赤鳥》雜誌中的童話故事，從出場人物的詞條出現傾向勾勒出更具實體的日本昔話詞彙的輪廓。截至目前為止觀察到下列 3 點特徵。

ⅰ.與日本有關之「宇喜田直家」、「歷史文化人物」詞彙的出現是有意義的，看不到像「弗蘭克林夫人」等外國人名。
ii.「1.2030 神佛・精靈」之神佛精靈相關詞彙，比起童話來的豐富，看不到「維納斯女神」、「救世主」等西方概念的角色。佐以說明了此詞群為代表昔話詞彙之特徵詞群。
iii.有關 「人物」、「專門・技術職業」、「社會階層」等詞彙裏，看不到童話裡經常可看到的「冒險家」、「賢者」等具有西方或現代概念的人物性格詞彙。

整體而言，昔話故事中所提到的或流露出的文化色彩較偏向過去日本庶民的生活樣態，而童話則較具有世界觀，時代背景也較接近現代。

關鍵字：童話　昔話 出場人物 庶民生活習慣

* 台灣大學日本語文學系教授

臺灣大學學術期刊資料庫

Approaching the vocabulary characterizations in Japanese folktales by studying the figures in the stories –Using magazine “Akai Tori” as studying material

Li-Ping Lin *

Abstract

This study accessed fairy tales published by well-known Japanese authors of children’s literature in the landmark magazine “Akai Tori” (“赤鳥”). The lexical items used for the descriptions of figures tend to sketch the specificities of Japanese vocabulary in Japanese folktales, which is distinctive from that in Japanese fairy tales. After gathering data from 188 articles and a total of around three thousand words, the following characteristics were found.

ⅰ. There were many names of historical Japanese characters, the most of which were famous during the time, in folktales; but there were some names of foreigners, which appeared regularly in common fairy tales.

ⅱ. The main feature of folktales is that the vocabulary related to spirit of God and Buddha was broadly used, compared to that used in common fairy tales. Additionally, vocabulary associated with non-Japanese God and Buddha vocabulary was rarely seen in folktales.

ⅲ. The words, which were correlated to the figures, professions, technical careers, races, social classes, military affairs in folktales showed seldom western or modern concepts that were commonly found in fairy tales.

Taken together, the cultural background shown in the folktales tends to exhibit the early lifestyle of Japanese civilians. In contrast, fairy

* Professor, Department of Japanese Language and Literature, National Taiwan University

臺灣大學學術期刊資料庫

tales include more worldwide concepts and relatively modern background.

Keywords: children’s literature, fairy tales, Japanese folktale, Japanese common lifestyle,

臺灣大學學術期刊資料庫

登場人物から見た日本昔話語彙の特徴
—『赤い鳥』の童話を手掛かりに—

林立萍*

要旨

本稿は、日本近代児童文学を確立・発展させた媒体として知られる雑誌『赤い鳥』(大正 7 [1918]～昭和 11[1936]年刊行)を取り上げ、登場人物に焦点を当て、言語学のアプローチからその特徴を浮き彫りにし日本昔話語彙の特徴を考えてみる。結果は、以下の 3 点を日本昔話語彙の特徴として浮き彫りにしたことが指摘できる。

ⅰ日本とかかわっている「宇喜田直家」といった「歴史文化人物」語群の出現に意味があり、「フランクリン夫人」、「アボット艦長」などといった外国人の名前が見られない。

ⅱ「1.2030 神仏・精霊」語群は、童話語彙よりバラエティに富んでおり、女神ヴィーナス、メシアといった西洋のキャラクターが見られない。

ⅲ「人物」、「専門・技術的職業」「社会階層関係」などの分野においては、「冒険家」、「賢者」といった西洋や現代にかかわる表現が見られない。

全体としては、昔話における登場人物に関する表現は、日本の昔の庶民の生活習慣を反映するものが多い。それに対し、童話は、近現代の西洋生活文化に関する表現が散見される点で対蹠的である。

キーワード：童話　昔話　登場人物　庶民生活習慣

* 台湾大学日本語文学系教授

臺灣大學學術期刊資料庫

登場人物から見た日本昔話語彙の特徴
―『赤い鳥』の童話を手掛かり―

林立萍

一、はじめに

日本昔話はかつて「童話」と呼ばれていたことがある。オンラインデータベース「JapanKnowledge+ ジャパンナレッジ」によると、「童話」という言葉は、1814 年[1]に日本で使用されていたにもかかわらず、1918（大正 7）年から雑誌『赤い鳥』の創刊にともない、児童のための創作物語という新しい意味をもって使われるようになったという。これについての言及は、『日本近代文学大事典』（1977、日本近代文学館）や『日本現代文学大事典』（1994、明治書院）などにも見られる。いったい日本昔話を通してどれほど昔の庶民の関心事や生活文化に親しむことができるのか。それは、おそらく童話語彙との比較を一つの手掛かりとして把握できると考えられる。本稿は、試みに「日本近代児童文学を確立・発展させた媒体として知ら

[1] その言及について参考に以下のように掲げておく。（括弧は原文のまま）詳しくは、「童話」の項を参照されたい。（2013 年 6 月 22 日、2015 年 9 月 1 日、2017 年 9 月 20 日アクセス）
説話の諸形式を基礎として自由に創作された、子供をおもな読者とする文学の一形式。ことばそのものは、江戸期の山東京伝（さんとうきょうでん）が随筆『骨董（こっとう）集』上編（1814）のなかで「むかしばなし」と読ませ、曲亭馬琴（ばきん）も同じく随筆『燕石襍志（えんせきざつし）』（1810）で「わらべものがたり」と読ませて使っている。ともに子供にふさわしい昔話をさしていた。
明治期に使われた最初の例は、木村小舟（しょうしゅう）の『少年文学史』明治篇（へん）下巻（1942）によれば、1899 年（明治 32）に開発社という出版社が「修身童話」という幼児向きの読み物を発刊したときであるという。木村は同書で「同じく昔物語、或（あるい）は伝説口碑の類も、これを文学的に取扱ふ時は、お伽噺（とぎばなし）といひ、それが教育的に描かれた場合には、お伽噺といはずして童話と称する。 ―中略― かういふ一種の見方も、もはや今日よりすれば、亦大（またおほい）に異論もあらうが、此（こ）の当時は、大体かやうに区別を立てたものであつた」と述べている。事実、蘆谷蘆村の『教育的応用を主としたる童話の研究』（1913）および『童話及伝説に現れたる空想の研究』（1914）での童話は昔話をさしている。
童話が新しい意味をもって使われたのは 1918 年（大正 7）創刊された雑誌『赤い鳥』からである。…

臺灣大學學術期刊資料庫

れる雑誌『赤い鳥』(大正 7[1918]～昭和 11[1936]年刊行) を材料に、現段階まで得られた結果を踏まえ、登場人物に焦点を当て言語学のアプローチから考察を試みる。その成果は、日本昔話を日本語教育における学習支援や日本文化の学習資料として考える際のたたき台として活用できれば幸いである。

二、昔話における「人間活動の主体」語彙

日本語は自然を表す表現が多い言語として知られている。これは日本の自然が変化に富んでいることと、日本人が自然に親しみ、強い関心を持ってきたことを意味すると言われている[2]。

一方、筆者（2014）は、すこしでも日本語教育における学習支援に貢献できるように、日本昔話を取り上げ、比較語彙論の研究方法を利用し、言語と文化の接触面である語彙から考察を試みようとした。考察は、文字化された紙媒体だけに限らず、視聴覚メディアも調査対象として考慮に入れ、語彙調査を通して語のあり方を観察しその特徴を探ろうとした。結果は、集められた自立語 7,744 語（延べ 58,759 語）[3]をさらに意味分類を施し、そのありかたを観察しみてると、表 1 のようにまとめることができた。表 1 によると、「1.2390 固有人名」(1 位)、「1.2590 固有地名」(3 位)、「1.2030 神仏・精霊」(4 位)、「1.2010 われ・なれ・かれ」(9 位)、「1.2340 人物」(11 位)、

[2] 詳しくは、金田一春彦（1988：161）『日本語　新版（上）』（岩波新書）を参照されたい。

[3] 異なり 7,744 語は、紙媒体の『日本昔話集（上）』（柳田國男、1930 年、アルス社）と視聴媒体の「まんが日本昔ばなし」（毎日放送、2011 年）から両者の共通した語を引いた語数である。前者は、柳田國男が変わった珍しいものではなく、できるだけ全国の多くの児童が聞いて知っているだろうと思われるものを採集し、小さな一冊の本にしようとして上梓したもので、108 話が収められている。共通語の風潮で出版されたもので、幾分かの「標準的」という意味合いが含まれていると言える。調査は、108 話から異なり 4,415 語（延べ 24,379 語）を集めることができた。後者は、1975 年 1 月から 1994 年 9 月にかけて週に一回というペースで日本の毎日放送テレビ局で放送されたものである。このシリーズは、高い視聴率が記録されただけではなく、文化庁優秀映画作品賞を始め、多数の賞を受賞しており、人びとの関心を集めている視聴覚媒体と言えよう。全部で 1,468 話がある。調査は、個人レベル出来る範囲で、便宜的に 2011 年 4 月に最初に発売された DVD に収録されている 78 話（1 話 15 分）を対象とし、前者と同じ手順によって 5,345 語（延べ 34,380 語、）を集めることができた。

臺灣大學學術期刊資料庫

「1.2410 専門的・技術的職業」（13 位）といった「1.2 人間活動の主体」分野の語が上位に来ている傾向が見られる。とりわけ、「弘法大師」や「お地蔵様」といった固有名詞や神仏・精霊などに関する表現はバラエティに富み、昔の庶民の関心事や生活文化に親しめる点において貴重なものであるということが考えられる。

表 1　上位に来ている意味項目

順位	意味コード	語数	語率	累積語数	累積語数率	語　例
1	1.2390	207	2.67	207	2.67	弘法大師
2	1.1962	145	1.87	352	4.54	三十三尋
3	1.2590	141	1.82	493	6.37	日本、信州
4	1.2030	110	1.43	604	7.80	仏様、水神
5	1.5501	90	1.16	694	8.96	猿、亀、蛇、
6	3.1920	75	0.97	769	9.93	大変だ
7	1.5240	68	0.88	837	10.81	山
8	20.000	63	0.81	900	11.62	こりゃ（連語）
9	1.2010	58	0.75	958	12.37	僕
10	1.1960	55	0.71	1,013	13.08	二人
11	1.2340	54	0.70	1,067	13.78	拗け者
12	4.3010	53	0.68	1,120	14.46	此れは（感）
13	1.2410	52	0.67	1,172	15.13	染め屋
14	4.3200	51	0.66	1,223	15.79	さあ（感）
15	4.3310	50	0.65	1,273	16.44	馬鹿
16	1.5250	50	0.65	1,323	17.08	川
17	3.5030	49	0.63	1,372	17.71	静かだ

（『日本昔話語彙の研究』（2014：96）より）

これを踏まえ、筆者（2015）は、試みとして、調査対象を毎日放送テレビで放送された人気アニメ番組「まんが日本昔ばなし」（78 話、自立語の異なり 5,348 語、延べ 63,095 語[4]）に絞り、既存の 7

[4] 異なり語数や延べ語数は、音声を文字化する際の「句読点」「記号」、あるいは笑い声、叫び、うなり声、ため息、どよめき、くしゃみ、咳払い、荒い息などの「表情音」や、ハミングやスキャットなどの「遊戯音」を「非言語音」として除外した数である。

臺灣大學學術期刊資料庫

種の教育基本語彙表[5]と比較することによって、7 種の教育基本語彙表のどれにも見当たらない約 3 割弱の語群を浮き彫りにし、それを擬似的な日本昔話方面語[6]として位置づけようとした。面白いことに、その意味分類構成比は、依然として同じ傾向である。すなわち、「人間活動の主体」の割合は一番高く、とりわけ「1.2390 固有人名」の語形がバラエティに富んでいるということである。考察は、さらに、「1.2390 固有人名」と「ちゃん」、「さん」、「様」などといった語形に親しみや敬意を表す人称関係の接尾辞が付いている表現に分けて、登場人物に関する表現にどのような生活文化が窺えるかを深めていくと下記の 4 点が指摘できた。

①「正直」、「智恵」、「孝行」、「勤勉」、「武勇」、「信用」、「恩返し」などのキーワードが浮かび上がり、そこに昔の庶民の期待している人間像が物語られているのではないかと思われる。

②「幸せ」、「平穏」、「豊か」な日々を送るという生活に対する願いも窺われるのではなかろうか。

③爺に関する表現は婆よりバラエティに富んでいる。それに対し、親関係の表現が近世末の江戸時代にも見られることは、その時代の生活文化とある程度の関連性があると言えよう。

④子好き地蔵様といった仏教関係のキャラクターが登場するほか、仏教関係の用語が造語要素として使用されている妖怪も見られ、仏教に対する関心が高いと考えられる。

---

[5] 『国立国語研究所報告 127　教育基本語彙の基本的研究－増補改訂版』(明治書院、2009 年）に収録されたもので、全部で 27,234 件からなっており、どれも日本語の学習や教授のために作成された教育基本語彙表である。語彙表の名前、収録語数、公開した年、作成者の順で掲げておく。①『教育基本語彙』(22,500 語、1958 年、阪本一郎)、②『新教育基本語彙』(19,271 語、1984 年、阪本一郎)、③『学習基本語彙』(3,469 語、1956 年、田中久直)、④『国語教育のための基本語体系』(3,000 語、1957 年、池原楢雄)、⑤『言語要素指導』(1,955 語、1962 年、児童言語研究会)、⑥『学習基本語彙』(4,322 語、1984 年、中央教育研究所)、⑦『日本語教育のための基本語彙調査』(6,060 語、1984 年、国立国語研究所)。

[6] 林四郎（1982）によると、我々人間の頭に存在する語彙は、基本的に七つの層に分けられる。一番外側にある語群は、その分野によく出現するいわゆる方面別発展語である。この考えに従うと、この 7 種の教育基本語彙のどれにも見られない 31.17%の 1,606 語が昔話方面発展語という性格を帯びているということが考えられよう。

臺灣大學學術期刊資料庫

このように、「1.2 人間活動の主体」分野の語の出現様態は日本昔話語彙において特別な存在であると物語っているであろう。

童話は、かつて昔話の代名詞として使われていたことがあるにもかかわらず、『赤い鳥』の創刊によって、新しい意味を持って使われるようになった。さらに『日本現代文学大事典』(1994、明治書院)をひもとくと、「大正七年から「赤い鳥」の創作童話・童謡の時代が現出して、童話が児童文学を代表するようになった」という指摘[7]も見られる。このように、童話は、その言葉自体のさす意味が時代によって異なると思われるものの、児童が読む、または親などの大人が幼年児童に読み聞かせるという性格は依然として大きな変わりはないと言えよう。そういう意味では、同じ児童を対象とする童話における「1.2 人間活動の主体」分野の語の出現様態は、日本昔話と同じような傾向が見られるのか。これは、日本昔話を考える際に不可欠な視点と言えよう。本稿は、前述した方法で「1.2390 人物」や語形に親しみや敬意を表す人称関係の接尾辞の付いている登場人物に関する表現を手掛かりに童話のそれを観察し考察を進めてみる。

三、調査対象

童話は、国立国会図書館デジタルコレクション[8]にも大量に収録されている。一方、『赤い鳥』は、大正時代から盛んになった日本の児童文学運動を語る際に欠かせない、日本の児童文学で最も貴重な雑誌で画期的な資料として知られている。

『赤い鳥』は、夏目漱石門下の鈴木三重吉の主宰によって大正 7 年 7 月に始まったもので、復刊後の昭和 11[1936]年まで、全 196 冊が出版された。その中、芥川龍之介を始め、有島武郎、宇野浩二、新美南吉など文壇の一流の作家・詩人の多くの傑作が収められ、大

[7] 詳しくは、宮崎芳彦による執筆の「童話」の見出し項を参照されたい。
[8] 国立国会図書館デジタルコレクションは、電子図書館で、明治・大正・昭和前期の著作権が切れた、或いは著作権が存続しているが著作権者の許諾を得た図書資料をスキャンしてインターネット上に公開されたサービスで、2015 年 7 月 20 日まで近代デジタルライブラリーと呼ばれているものを統合した。

臺灣大學學術期刊論文

正・昭和を通じて多くの子どもに夢とロマンを与えてきたという。広島市立中央図書館の広島文学資料室は、『赤い鳥』刊行 90 周年の節目に「鈴木三重吉と「赤い鳥」の世界」というウェーブサイトを立ち上げ、その作家と作品の目録を表２のようにインターネット[9]で公開した。

表 2　広島市立中央図書館の公開した「赤い鳥」の目録

「赤い鳥」の作家　　1/34

作　者　名	作　品　名	巻	号	発 行 年 月 日	頁	備　考
青木健作	鴛鳥	1	4	大正７(1918)年10月	28-29	絵話
青木健作	啄木鳥	1	6	大正７(1918)年12月	56-57	童話
青木健作	水喧嘩	2	2	大正8(1919)年特別号	22-23	絵話
青木健作	仇討	10	2	大正12(1923)年２月	60-67	童話
青木健作	成田での思ひ出	12	3	昭和11(1936)年10月	212-216	
青木茂	虫のお医者	8	1	大正11(1922)年１月	36-41	童話
青山あき子	お耳	7	6	昭和9(1934)年６月	51-53	幼年童話
青山あき子	いろがみ	9	3	昭和10(1935)年３月	47-51	幼年童話
秋田雨雀	鷹の御殿	1	4	大正７(1918)年10月	54-59	童話
秋田雨雀	牧神と羊の群	1	6	大正７(1918)年12月	60-67	子供芝居
秋田雨雀	野の郡長さん	4	4	大正9(1920)年４月	54	童話
秋田雨雀	白鳥の国	5	3	大正9(1920)年９月	60-65	童話
秋田雨雀	蝿の勝利	6	5	大正10(1921)年５月	64-67	童話
秋田雨雀	三重吉君とソヴエート	12	3	昭和11(1936)年10月	163	
秋葉喜代子	めがね	9	5	大正11(1922)年11月	66-71	童話
秋葉喜代子	小馬と機関車	9	6	大正11(1922)年12月	34-39	童話
秋庭俊彦	蟻と驢馬　驢馬の鈴	1	2	大正７(1918)年８月	58-60	童話
秋庭俊彦	蟻と驢馬　蝶の自慢	1	2	大正７(1918)年８月	60-61	童話
秋庭俊彦	牝牛の皮	7	6	大正10(1921)年12月	38-47	童話
秋庭俊彦	鐘馗様と鬼	8	5	大正11(1922)年５月	38-43	童話
秋庭俊彦	阿呆鳥	11	4	大正12(1923)年11月	72-75	童話
秋庭俊彦	櫻ん坊のパイ	13	1	大正13(1924)年７月	36-41	童話
秋庭俊彦	天国から来た人	13	3	大正13(1924)年９月	24-31	童話

そのうち、大正７年 12 月に発表した青木健作氏の「啄木鳥」のように、備考欄に「童話」と注記された作品は、167 人によって発表された 1,183 篇ある。平均的な長さは、3,000 字～5,000 字である。大半の作家は 1 篇か２篇ほどしか発表せず、全体の三分の二の割合である。35 篇以上の作家は、表 3 に示されたように、わずか 11 人しかいない。

表 3　　35 話以上の作家及び作品数

	作家	作品数
1	水木京太	35
2	坪田譲治	35

[9] 詳しくは、http://www.library.city.hiroshima.jp/akaitori/sakuin/sakka1.pdf を参照されたい。

臺灣大學學術期刊資料庫

3	下村千秋	36
4	吉田絃二郎	36
5	宇野浩二	37
6	小野浩	39
7	小川未明	42
8	江口渙	42
9	森三郎	45
10	宮原晃一郎	53
11	鈴木三重吉	111
	合計	511

調査は、中間報告として、文学史上においてよく知られている坪田譲治（35）と小川未明（42）と鈴木三重吉（111）の 188 作品（以下、便宜的に「童話語彙」と称す）に絞り、二段階に分けて検討してみる。

四、考察

考察は、「1.2390 人物」や語形に親しみや敬意を表す人称関係の接尾辞の付いている表現もしくは関連のある表現に焦点を当て進めてみる。なお、作品数の割合から、二段階に分けて検討を試みる。

（一）坪田譲治（35）と小川未明（42）の 77 作品から見た場合

1.「1.2390 固有人名」の分類項目に関する語群

坪田譲治（35）と小川未明（42）の 77 作品から「1.2390 固有人名」をピックアップして昔話語彙のそれと照らし合わせてみると、表 4 のようにまとめることができる。

表 4　童話語彙と昔話語彙における「1.2390 固有人名」語彙

	童話	共通	昔話
計	110	3	204

臺灣大學學術期刊資料庫

歴史文化人物	（8）宇喜田直家、梶原景季、佐々木高綱、新田義貞、北條高時、松田左近将監、宮本武蔵、柳太郎	（2）一寸法師・金太郎	（44）安倍晴明、安珍、安珍様、安珍め、安徳天皇、一休、一休さん、一休禅師、碓井貞光、浦島、浦島さん、浦島太郎、卜部季武、かぐや姫、髪長姫、観修僧正、清姫、金太郎さん、金時、牽牛星、源氏、弘済、弘済和尚、弘法様、弘法大師、坂田金時、大師様、七夕、田村将軍、田原藤太、成信、八幡太郎、八幡太郎義家、春姫様、堀川少将、御堂関白道長、武蔵坊弁慶、桃太郎、桃太郎さん、安長姫、義家、渡辺綱、芳一、芳一さん
一般人物	（102）佐吉、S 少年、さち子、平三、水野、善太、三平、正太、平作、あきちやん、五十嵐君、石田、今西君、岩井、甚七さん、榮三…	（1）（太一）	（160）、大い子、お菊、お菊さん、お琴、お静さん、おはな、おはなさん、お花坊、お春さん、お藤、おユキ、おわさん、アイ、太郎、松子、次郎、太郎、安左衛門、十兵衛、文助、文助爺、兵六、兵六どん…

例えば「童話」には、「童話」にしか見られない 110 語（「宇喜田直家」、「佐吉」など）と、「昔話」にも共通で見られる 3 語（「一寸法師」、「太一」など）とがあり、全部で 113 語ある。それに対し、

臺灣大學學術期刊資料庫

「昔話」は 207 語あるということになる。これらの人物は、さらに、「宇喜田直家」といった歴史的・文化的背景を辿られる人物の「歴史文化人物」[10]と「佐吉」といった一般的な人名の「一般人物」とに分けてその割合を観察してみると、「童話」は 10 対 103 の 9.71%で、「昔話」は、46 対 161 の 28.57%となる。

柏野和佳子（2006:155）も指摘しているように、『分類語彙表』は、多くの人名を取り上げている。これは、他の類語辞典には見られない面白い特徴である。昔話語彙における「1.2390 固有人名」語群には、『分類語彙表』によって見出せるのが僅かに「浦島太郎」、「太郎」、「源氏」、「牽牛星」、「七夕」、「一休」の 6 語しかない。つまり、昔話語彙に存在する大量な人名は、昔話語彙の一つの特徴であると考えられるであろう[11]。これを踏まえ、さらに、「歴史文化人物」の「一般人物」に対する割合（28.57%）も視野に入れ、童話語彙のそれ（9.71%）と比べてみると、3 倍近く高くなっているということがわかった。これは、やはり、昔話語彙における人物、とりわけ「歴史文化人物」語群の出現に意味があるのではないかと指摘できるであろう。

2.語形に人称関係の接尾辞のついた語群

登場人物に関する表現といえば、前節で触れた「1.2390 固有名詞」のほかに、しばしば「～ちゃん」や「～くん」などといった人称関係の接尾辞とくっついた表現が使用されている。これらの接尾辞は、人名、または、人を表す名詞について、親しみや敬意などを表す働きがある。日本昔話語彙に見られる人称関係の接尾辞には、「～ちゃん」や「～くん」のほかに、「～さん」、「～さま」、「～どん」、「～はん」、「～ぼう」がある。これらの人称関係の接尾辞のついている表現は、大まかに爺婆関係（表 5）、親子・家族関係（表 6）、神仏・精

[10] どのような人物を歴史的・文化的な背景を辿ることができる人物と見なすかは、更に、文献調査やアンケートによる意識調査を施し確認す必要があるが、現段階では、『日本伝奇伝説大事典』（1987 年、角川書店）、『日本歴史人物事典』（1994 年、朝日新聞社）を参考にしつつ、物語から個人的な理解や判断にゆだねることにする。

[11] 詳しくは筆者（2014：102）を参照されたい。

臺灣大學學術期刊資料庫

霊関係（表 7)、動・植物関係（表 8）に分けられる[12]。ここでは、同様の方法で童話語彙からこれらの人称関係の接尾辞のついている表現をピックアップし、その結果を表 5 から表 8 に記入してみる。例えば、表 5 に下線の引いてある「爺ちゃん」、「お爺さん」などは、童話語彙にも見られるということである。

表 5　爺婆関係の表現

爺さん系		婆さん系	
爺さん	意地悪爺さん	婆さん	—
爺ちゃん	正直爺さん	***婆ちゃん***	—
お爺さん	欲張りお爺さん	お婆さん	—
お爺ちゃん	花咲か爺さん	***お婆ちゃん***	—
爺様	—	婆様	—
お爺様	—	婆ちゃ	—

表 5 が示しているように、昔話語彙における爺婆関係の表現は童話語彙のそれよりやや豊かであると見受けられよう。

親子・家族関係の表現（表 6）については、昔話語彙には、「とっつぁま」「かかさま」「おっかさん」などといった近世末の江戸時代に使われた表現が見られるが、童話語彙には「おとっちゃん」しか見出せなった。

表6　親子・家族関係の表現

童話	共通	昔話
おじさん、父ちゃん	***おとっちゃん、お父様、お父ちゃん***	とっつぁま、お父さん、親父様、

[12] 詳しくは筆者（2014)「第七章　日本昔話語彙に見る庶民の生活文化」を参照されたい。

臺灣大學學術期刊資料庫

母さん、おばさん、おかあちゃん	***お母様、お母さん、母ちゃん***	かかさま、おかっさん
		お嫁さん、嫁さん
お上さん、奥さん		
		婿さん
兄ちやァん、兄ちやァんッ	***兄さん***	
姉さん、お姉ちやん、妹さん	***お嬢さん、娘さん***	お姉さん、娘さんたち
お坊ちゃん	***赤ちゃん、***	子供たち、童たち、坊ちゃん

表 7 は、昔話語彙に見られる「1.2030 神仏・精霊」に関する語群で、大きく神様関係、仏教関係、妖怪関係との 3 系列に分けられる。そのうち、「～さま」や「～さん」の接尾辞の有無によってさらに下位分類を立てることができる。童話語彙にも見られる表現は、下線の引いてある「神様」、「お日様」、「仏様」、「お地蔵様」の四語しかない。

表 7　「1.2030 神仏・精霊」に関する語群

①神様関係（43 語）	
・***神様*** 天神様 山の神様 木の神様 水神様 海の神 竜神様 竜王様 火の神様 荒神様 明神様 御歳神 氏神様 大神宮様 神野菜の神様 ***お日様*** ・弁天様 大黒様 稲荷様 が王様 仁王様 毘沙門様 鎮守様 天道さん	・神々 天神 天の神 山の神 水の神 水の女神 池の神 竜王 道祿神 火の神 竈の神 姫神 明神 守り神 氏神 老松明神 ・大黒天 大黒 が王
②仏教関係（35 語）	
・***仏様*** 生き仏様 本尊様 御本尊様 お釈迦様 阿弥陀様 地蔵様 地蔵さん お地蔵さん ***お地蔵様*** 子好き地蔵様	・仏 本尊 大日如来 化身 地蔵 地蔵菩薩 田植地蔵 石地蔵様 観音 観世音 観音様 観音の像

臺灣大學學術期刊資料庫

	・鬼子母神 ・鬼　鬼さん　鬼ども　鬼共　餓鬼　餓鬼ども　鬼め　鬼達　赤鬼　幽霊　亡霊
③妖怪関係（30 語）	
天狗さん　天狗様	・化け　お化け　化け物　天狗　あずきとぎ　あずきとぎ幽霊　天狗たち　傘小僧　一つ目小僧　一つ目小僧め　三つ目入道　はなたれ小僧様　酒呑童子　山父　山母　山姥　人魂　山の鬼　小鬼　天邪鬼　魏死鬼　鬼女　雪女　小人　古屋のもり　座敷わらし　怪物　人魂
④其の他（2 語）	
	・天上人　天女

このように、「1.2030 神仏・精霊」に関する語群は、日本昔話語彙の一つの特徴として指摘できるであろう。注目すべきは、神様関係、仏教関係、妖怪関係のそれぞれの語数にあまり大きな違いが見られないといことである。また、「三つ目入道」、「傘小僧」、「一つ目小僧」といった妖怪の名前に「入道」や「小僧」という仏教関係の用語が造語要素として使用されている点は、仏教に対する関心を物語っているであろう。

表 8 は、動･植物関係の登場人物に関するものである。下線の引いてある「鴉さん」と「雀さん」は、童話語彙にも見られる。鳥類の「川蝉」は、昔話語彙では「～どん」の接尾辞を使用しているのに対し、童話語彙では「～さん」である。全体としては、昔話のほう

臺灣大學學術期刊資料庫

は、山岳地帯や森林、田、湖沼、川、湿地、草原などに生息する動・植物がバラエティに富んでいる。また、人称関係の接尾辞は、「～さん」だけではなく、「～くん」や「～どん」も使用されている点で特筆である。

表 8　動・植物関係の登場人物

	哺乳類	植物	鳥類	爬虫類	分泌物
昔話	猿くん、猿さん、猿どん	楠の木どん	***烏さん***、鴉どん	蟹どん	牛の糞どん
	狸くん、狸どん	ソラ豆さん	***雀さん***	蜂どん	—
	熊くん、熊さん	—	山鳥どん		—
	兎どん	—	鶴どん	蚯蚓さん	—
	獺さん	—	雉どん	亀さん	—
	栗鼠さん	—	川蝉どん（川蝉さん）	—	—
童話	鼠さん	河骨さん	小鳥さん	—	—
	狐さん	楓さん	—	—	—
	—	白樺さん	—	—	—
	—	橡の木さん	—	—	—

（二）鈴木三重吉の 111 作品から見た場合

この節では、大きく「1.2030 神仏・精霊」、「1.2390 固有人名」、「動物関係」、「その他」の表現に分けて考察を進めてみる。

1.「1.2030 神仏・精霊」について

臺灣大學學術期刊資料庫

この分野においては、計 24 語しかピックアップすることができなかった。大まかに神仏と精靈とに分けて整理してみると、以下のような傾向が見られる。

i 神仏: 神(6) 、神々、神さま(17) 、海の神さま、住吉の明神さま、軍神、女神ヴィーナス、メシア、ヴァルカン

ii 精靈: 鬼(3) 、鬼たち、鬼ども、怪物、小人(4) 、小人たち、化物、火の目小僧、幽霊、悪魔(2) 、黒鬼、幸福の精、精たち、魔女、妖女

例えば、「神」は、出現回数が 6 回で、昔話語彙にも見られる。それに対し、二重下線の引いてある「軍神」や「女神ヴィーナス」などは、一回しか見られず、鈴木三重吉の童話だけにしか見られない語群である。

2.「1.2390 固有人名」について

「1.2390 固有人名」にグルーピングされた語群は、大きく日本人名、外国人名、その他、の三タイプに分けられ、それぞれ、59 語、168 語、20 語であった。下線の引いてある「玉」だけ以外、どれも昔話語彙に見られない名前である。とりわけ、バラエティに富んでいる外国人の名前が昔話語彙に見られないという点では注目されている。

i 日本人名（59）:

・すず子ちゃん、足女奈、勘太、木下、十ちゃん、大佐、瑚子ちゃん、手男奈、デブちゃん、でぶでぶさま、十四ちゃん、ながなが、長々さん、ピイピイ、ぶくぶく、棒、よし子ちゃん、好ちゃん、レオンさん

・伊坂健蔵、伊澤、伊澤美嚢守、井戸、井戸對馬守、鵜殿、鵜殿民部少輔、栄之助、遠藤松左衛門、金子重助、香山栄左衛門、工藤猛五郎、黒川、黒川嘉兵衛、竹内誠太郎、都築、都築駿河守、林委、林大学頭、林たち、平山、平山謙次郎、平五郎、堀達之助、松崎、松崎道太郎、松前勘解由、松前侯、森山、森山栄之助、吉田松蔭、遠藤、勘解由、小柳

臺灣大學學術期刊資料庫

ii 外国人名（168）：

アービッド、アウグスツス、アセルウォルド、アダムス、アダムス参謀長、アブト・エル・ケリム、アボット艦長、アリストゲイトン、アレマン、アンティフォン、アンデルゼン、アンドルー坊、アンドルー坊さん、アンナ、イサギ・コーダ、イドリス、イワン、イワン・アシオノフ、ウイリアム、ウイリアムス、ウイリアム男爵、エセルレッド、エドガー、エドガァ・アセリング王、エドガー王、エドギサ王女、エドマンド、エドワード、エドワード・ケイン、エドワード王、エドワード陛下、エマ、エリオット将軍、エリザ王女、エリザベ王女、エリザベ王女さま、エリザベス女王、エルフリダ、エンダービー、オーデュボン、オールゼン、カール、　カール王、カナリャ、カニュート、カンターベリイ、ガンヒルダ、ぐず王、クレリン、クワンヅチ・マンヂ、ケイン、ケインたち、ゲー、ケリム、ゴットルブ侯、コーブル、ゴットフレー、ゴットル、ゴライアス、サジュビ、サム、サムエル・ジョンソン博士、サンジュ、サンバッチ、ジェーコブ・エンダービー、ジェーン公女、ジェーン公女さま、ジャック、ジュン、ジョアレー、小ペリー、ジョン、ジョンたち、ジョンフランクリン、ジョンソン、シェイクスピア、スウェイン、ステンボックゼイムス・ムグレイ、セイント・ジョン男爵、セイント・ジョン伯爵、セイント・ヒュバート、ソマーセット公子、タマス、タマスたち、ダンスタン、ダンビー、ヂエ・ウイリアムス、チハン、チャンダラ、ディーサ、ディオニサス、ディニシアス、ディモン、デラポールト、トム、ドモクレス、ドルゴルッキイ、トレイ、ドレバー、ナナ、ニシアス、ノーマンディ侯、ハートフォード、ハートフォード伯、ハートフォード伯爵、ハーモディヤス、ハッサン、バニアンさん、ハリスチャンドラ、ハンス、ビーバ伯、ビサゴラス、ピサゴラス、ビシアス、ビシストラツス、ビッティンガー、フィリップ大尉、フィロセヌス、フランクリン、フランクリン夫人、フランツ、

臺灣大學學術期刊資料庫

フリードリヒ四世、ブルゾボスキー、ブレイク、ヘイズ、ヘエット、ペリー、ペリーたち、ペリー長官、ヘレーネ、ベロ中尉、ベント、ヘンドン、ヘンリエッテ、ヘンリエッテさん、ボートマン、ポープ、ホップス、ホルン伯、ボンサル、ポンちゃん、マイア、マイアちゃん、マイケル、マイケル・ジョンソン、マカール、マダム・リイデル、マベル、マルキア、モートル、モーニ、モーリン、モーロー、モーロー博士、ユーリア、ユーリウス・クラウゼン氏、リスアニア、リチャード、リンカーン、リンカーンさま、ルフェーブル、レオボルト・ムクリントック、レグルス、ローズ、ロシャノビーター大帝、ロバード、ロバード王、エドワード

iii その他 （20）：

・勘公(蜥蜴の名前)、勘ちゃん(蜥蜴の名前) 、勘兵衛(蜥蜴の名前)、黒(黒豚の名前) 、黒さん(黒豚の名前) 、黒(猫の名前)、玉(猫の名前)

・アレキサンダー（馬の名前) 、コブラ・カベラ(毒蛇の名前)、サンリ(害虫の名前) 、タウザー (犬の名前) 、タボソック(蛇の名前) 、ドン公(驢馬の名前) 、ナジム(象の名前) 、ナッグ(象の名前) 、モティ・ガッシュ(象の名前)ピエロ(犬の名前) 、ポン(猿の名前) 、レックス(馬の名前)

これと関連のある人種・民族関係の表現も視野に入れると、以下に示しているように、昔話語彙に見られない表現が数多くあると観察できた。参考に、日本人であるかどうかによって二つのグループに分けて掲げておく。

i 日本人、日本人たち、琉球人、アイヌ人、日本国民

ii 愛蘭人、アフリカ人、アメリカ人、アラビヤ人、アルサス人、アレマン人、英吉利人、英吉利人たち、インディアンたち、インド人、ウエイルス人、エキスモー人、欧米人、オランダ人、オランダ人たち、カーセイジ人、カーセイジ人たち、合衆国人、希臘人、グリーンランド人、黒ん坊、支那人、シラキュース、

臺灣大學學術期刊資料庫

シラキュース人、瑞典人、西洋人、チーズ島人、デイン人、丁稚人、土人、土人さん、土人たち、土耳古人たち、日米人、ニユミディア人、蛮人、フランス人、ローマ人、ロシア人、外国人、外人、他国人

上に示しているように、童話語彙には、どちらかというと、「フランクリン夫人」、「アボット艦長」などといった現代の外国人の名前が豊富で、日本とかかわっている「宇喜田直家」といった「歴史文化人物」が相対的に少ない。この点は昔話語彙と対蹠的であると指摘できる。

3.動物関係の表現について

動物関係の語群は、以下に示しているようにたいてい童話語彙にも昔話語彙にも見られる傾向があると言えよう。

・暴れ馬、荒れ馬、馬、お馬、小馬、乗馬、裸馬、牝馬
・犬、犬君、犬ころ、大犬、犬たち、イノシシ、飼犬、狂犬、小犬、野良犬、野良犬たち、猟犬、やどなし犬、藁犬、やくざ犬、野犬、雌犬、病犬
・兎、兎さん、兎ちゃん、白兎
・小牛、牛、牡牛、牡牛さん、野牛、牝牛
・狼、狼さん、狼ちゃん
・大熊、子熊、熊、熊さん、黒熊、白熊
・水獺
・狐さん、狐奴、子狐、狐
・獣、獣たち、猛獣、野獣
・小鼠、鼠、鼠ちゃん、野兎、野鼠、、二十日鼠、針鼠、土鼠土鼠さん、土鼠たち、栗鼠、栗鼠たち
・お猿、お猿さん、猿、猿さん、猿奴
・鹿
・猫、猫君、猫さん、猫たち、猫ちゃん、のら猫、慾ばり猫、母猫、小猫
・虎、虎さん

臺灣大學學術期刊資料庫

・牝鹿、麋
・家鴨、家鴨たち、鸚鵡、大烏、大鷲、親烏、牡鶏、家禽、鵞鳥、鵞鳥さん、鵞鳥たち、鴨、鴨、鴨さん、鴨たち、烏、雁、雁さん、雁め、啄木鳥、子烏、小鳥、小鳥たち、コロコロ鳥、小鷲、雀、鷹、鳥、鶏、鳥たち、鶏たち、野鳩、白鳥、ハゲタカ、鳩、鳩たち、雛、雛たち、ひな鳥、雛鳥、梟、ぽっぽう、ほとどぎす、雌鳥、雌鶏、野禽、山雀、鷲、ワシたち
・小魚、魚、魚たち、鮭、
・海亀、海蛇、大蛇、蛇、毒蛇、人喰蛇、蛇たち、蜥蜴、鰐、小鰐
・龍、蚯蚓、蟹、蜘蛛、みみづく
・蛙、蛙たち、蛙ちゃん、子蛙、

ii 童話語彙にしか見られない動物関係の語群

・鼬、大いたち
・男山羊、親山羊、小羊、小山羊、白山羊、羊、羊たち、牝山羊、山羊、山羊たち、山羊ちゃん
・大象、海象、飼い象、象、象たち
・黒豚、白豚、小豚、子豚、野豚、豚、豚奴
・獅子、獅子さん、狆、貂、豹、豹さん、真甲鯨、
・海豚、河馬、蝙蝠、駱駝、驢馬、驢馬さん、驢馬奴、キリン、ライオン
・七面鳥、七面鳥さん、金絲鳥、駝鳥、鶫、燕、燕さん
・鯨、鰐、鮎、大鰯、大魚、お魚、怪魚、鰹きす、海馬、鰈、鮫、鮫さん、細魚、鰆、塩鰯、大怪魚、鱒、
・青蟲、蟻、蟻たち、蛆虫め、おけら、害虫、熊蜂、蛹、虱、蝶々、毒蠅、蚤、蠅、蜂、羽虫、ぶんぶん、黄金蟲、屁っぴり蟲、蜜蜂、蟲
・烏賊、海老、大蟹、牡蠣、蝸牛、サソリ、海鼠、百足虫、

4.その他の関連のある表現について

この節では、登場人物と関連のある「人物」、「専門・技術的職業」、

臺灣大學學術期刊資料庫

「君主関係」、「社會階層関係」、「軍事・管理関係」、「職業関係」を手掛かりに童話語彙との比較によって昔話語彙の特徴を探ってみる。網線のかけてある語は、比較的近現代や西洋概念にかかわっている表現で、括弧にある数字は、出現回数を意味している。

ⅰ「人物」について

・童話語彙にも昔話語彙にも見られるキャラ

旅人、悪婆、馬鹿（2)、ばか奴、ばかもの、怠けもの、働きもの、慾ばりや、盲目(3) 、泥棒奴(3) 、泥棒爺、盗賊、悪もの(3) 悪ものたち、寝坊ちゃん

・童話語彙にしか見られないキャラ

気取り屋、鬚なし、*冒険家*、*賢者*、*聖者(3)* 、小もの、*先生*、*博士*、*掠奪者*、*老博士*、*大学者*、金細工師、*権能者*、*法律家*、*批評家*、*クリスチャン教徒*、見世物師(2) 、*好紳士*、*紳士(4)* 、*老紳士*、気ちがい奴、狂人、*信心家*、*変人*、*喋り屋*、罪人(2) 、罪人たち(2) 、*犯罪人*、*悪女*、*航海者*、*仕事師*、利巧もの、*勇士(4)* 、怖がりや、弱虫(3) 、食いしん坊(3) 、 大食家、*囚人*、*囚人たち*、*奴隷(3)* 、*捕虜*、聾(2) 、聾さん、病人(3) 、死人(2) 、鹿泥棒、*追放者*、*追放人*、盗人、ぶつぶつ屋

ⅱ「専門・技術的職業」について

・童話語彙にも昔話語彙にも見られるキャラ

正直もの（2)、僧正（2)、僧侶、坊さま（8)、坊さんたち、小坊主め、大僧正（2)

・童話語彙にしか見られないキャラ

尼さんたち、医者たち（2)、歌い手たち、踊り子（2)、軽業師、間諜、戯曲作家、技手、詩人たち、主任通訳、、角力家、船医、船医たち、宣教師、、彫像師、通訳、道化師、道化もの（2)、屠殺者、屠獣者、ドラバー技師、美術家たち、蛇つかい、蛇つかいたち、牧師、牧夫、魔法使い（2)、教師たち、研究家、講談師、剛力もの

また、「君主関係」「社會階層関係」「軍事・管理関係」「職業関係」

臺灣大學學術期刊資料庫

に関する表現は、以下に示されているように、どれも童話語彙に見られるが、昔話語彙に見られない表現である。

iii「君主関係」の表現について

王、王さま、王さまたち、王たち、皇帝、国王陛下、少年王、女王、女王さま、女王殿下、瑞典王、大王、大統領、大名、帝王、丁抹王、日本皇帝、陛下、法王、暴君、波蘭王、領主、ローマ法王

iv「社會階層関係」の表現について

・王子、王子さま、王子たち、王子殿下、王女、王女さま、王女たち、公子、公子さま、公子たち、公女、公女たち
・騎士、騎士たち、貴族、貴族たち、侯、公爵、公爵さま、準男爵、準男爵家、男爵、伯爵、貧乏騎士

v「軍事・管理関係」の表現について

・下士卒、艦隊員、艦隊員たち、貴艦隊員、騎兵、義勇兵、高級将校、護衛兵、参謀長、手兵、将軍、少将、小水兵、水兵、水兵たち、戦士、曹長、曹長さん、大尉、大将、中尉、敵の兵、敵兵、敵兵ども、幕僚、兵、兵士、兵士たち、兵隊、兵隊たち、兵隊ども、士官、士官たち、仕官兵員、司令官、司令官たち、兵員たち
・委員たち、委員長、議員たち、貴政府委員、交渉委員たち、社員、政府委員、日本委員、日本政府委員、日本政府委員たち、乗組員、乗組員たち、派遣委員、派遣員たち、引受委員、引渡委員、官憲、官吏、貴官、議官、貴官たち、議官たち、貴官長、議政官、議政官たち、貴通訳官、警官、警察官、港務官、裁判官、執政官、将官、小官、書記、助手、属僚たち、大官、代理官、大老、知事、長官、長官閣下、通訳官、名主、秘書、秘書官、奉行、副官、副奉行、法務官たち、町役人、要塞司令官、吏員、領事

vi「職業関係」の表現について

・コーヒー栽培家、馬丁、羊飼い、溝掘り、山羊飼い、機関士、

臺灣大學學術期刊資料庫

馭者、上級船員、船員、船員たち、象使い、象使いたち、みならいうんてんしゅ、鍛冶屋、料理人、コックたち、粉挽、職工、職工たち、大工たち、料理人たち、労働者、おまわりさん、警察、巡査、番人、番人たち、案内者、給仕、給仕たち、給仕人、交附係、粉挽屋、粉屋、従僕、女中、手伝い人、水先案内人、召使、召使たち、郵便屋、学徒、学徒たち、生徒、生徒たち

・駅長さん、艦長、議長、組頭、市長たち、酋長、隊長、探検隊長、長老たち、典獄、お弟子たち、官民、後継者、後任者、支配者、従者、従者たち、征服者、部下、傭主、係員、勘定係、観覧者、見物人、小使い、使者、使者たち、使臣たち、使節、使節たち、人足たち、犯人、護衛隊、運送屋、洗濯屋、時計屋、床屋、肉屋、肉屋たち、麺包屋、麺包屋さん、理髪人

五、まとめ-結びにかえて

「童話」「昔話」「児童文学」等の定義や捉え方は、時代とともに変化し、簡単に定義を施すことができない。本稿は、児童文学を代表するようになった童話を取り上げ、便宜的に、作品数と文学史上の影響度を目安にし、『赤い鳥』に発表された坪田譲治（35）と小川未明（42）の鈴木三重吉（111）188 編から集めた童話語彙を手掛かりに、「1.2390 人物」及び語形に親しみや敬意を表す人称関係の接尾辞の付いている表現を通して登場人物に関わる語の出現様相を観察し、日本昔話語彙にどのような特徴があるのかをもう一つの視点から探ることを試みようとした。結果は、以下のようにまとめてみる。

ｉ）「人名」関係の語群

童話語彙には「フランクリン夫人」、「アボット艦長」などといった現代の外国人の名前は、大量に存在している。昔話語彙には、それが見られず、特に、日本とかかわっている「宇喜田直家」といった「歴史文化人物」が相対的に多いという点では日本昔話語彙の特徴語群として考えられよう。

臺灣大學學術期刊資料庫

ⅱ）「1.2030 神仏・精霊」関係の語群

童話語彙には、「女神ヴィーナス」、「メシア」といった西洋のキャラクターが見られるものの、数が少ない。それに対し、昔話語彙には、神様関係、仏教関係、妖怪関係の表現が豊富である。ある意味では、この分野は日本昔話語彙の一つの特徴として指摘できる。

ⅲ）「人物」、「専門・技術的職業」関係の語群

童話には「冒険家」、「賢者」といった西洋や現代に関する表現が多く見られる。それに対し、昔話語彙におけるそれが乏しい。

全体としては、昔話語彙に見られる登場人物に関する表現は、日本の昔の庶民の生活習慣を反映するものが多い。これに対し、童話語彙は、現代西洋の生活文化に関する表現が散見されるという傾向が見られる。これを踏まえ、どのように社会、歴史、文学、東西交渉などの文脈で捉え考察を進めるかは、紙幅の都合上、今後の課題とする。

【付記】本稿は、「2017 年語彙研究会大会」（2017 年 9 月 16 日）で発表したものに修正･加筆を行ったものである。大会での発表の際、貴重なご指摘・ご教示を賜ったフロアの先生方に厚く御礼を申し上げると同時に、本稿は、台湾の科技部専題研究計画（研究計画番号：MOST 105-2410-H-002-173 -）による研究成果の一部としてまとめたものでもある。ここに記して感謝申し上げます。

【参考文献】

稲田浩二等編（2010）『新版　日本昔話ハンドブック』三省堂

乾克己等編（1987）『日本伝奇伝説大事典』角川書店

柏野和佳子（2006）「『分類語彙表』の特徴と位置付け」『日本語学科』第 19 号

小泉欽司編（1994）『日本歴史人物事典』朝日新聞社

臺灣大學學術期刊資料庫

国立国語研究所（1982）『日本語教育基本語彙七種比較対照表』大蔵省印刷局

田島毓堂 (1994)「異文化、その比較と理解の一方法――語彙分類を通じての原理的考察」『国際開発研究フォーラム 1』名古屋大学国際開発研究科

田島毓堂 (1995)「比較語彙論の構想―異文化比較研究のために」『国際開発研究フォーラム 2』名古屋大学国際開発研究科

成田徹男（2013）「接頭辞「お～」と接尾辞「～さん」をともなう語彙の意味用法の記述」『名古屋市立大学大学院人間文化研究科　人間文化研究』第 19 号

林四郎（1971）「語彙調査と基本語彙」『国研報告 39　電子計算機による国語研究Ⅲ』（1974『言語表現の構造』明治書院に再録）

林四郎（1982）「日常語・専門語及び表現語」『講座日本語学 1　総論』明治書院（1987「頭の中の語彙の構造」『漢字・語彙・文章の研究へ』明治書院に再録）

林四郎（1987）「頭の中の語彙の構造」『漢字・語彙・文章の研究へ』明治書院

水沢謙一（1959）「昔話に直結した諺・俗信」『日本民俗学会報』NO.6（日本民俗学会）

三好行雄・竹盛天雄・吉田凞生・浅井清編（1994）『日本現代文学大事典』明治書院

小田切進（1977）『日本近代文学大事典』日本近代文学館

林立萍（2014）『日本昔話語彙の研究』台大出版中心

林立萍（2015）「日本昔話方面語の登場人物から窺われる庶民の生活文化」『日本語語彙へのアプローチ―形態・統語・計量・歴史・対照―』（斎藤倫明・石井正彦編）おうふう

林立萍（2016）「総体としての語彙からみた子ども向け書物ー日本昔話から」『語彙研究』第13号

臺灣大學學術期刊資料庫